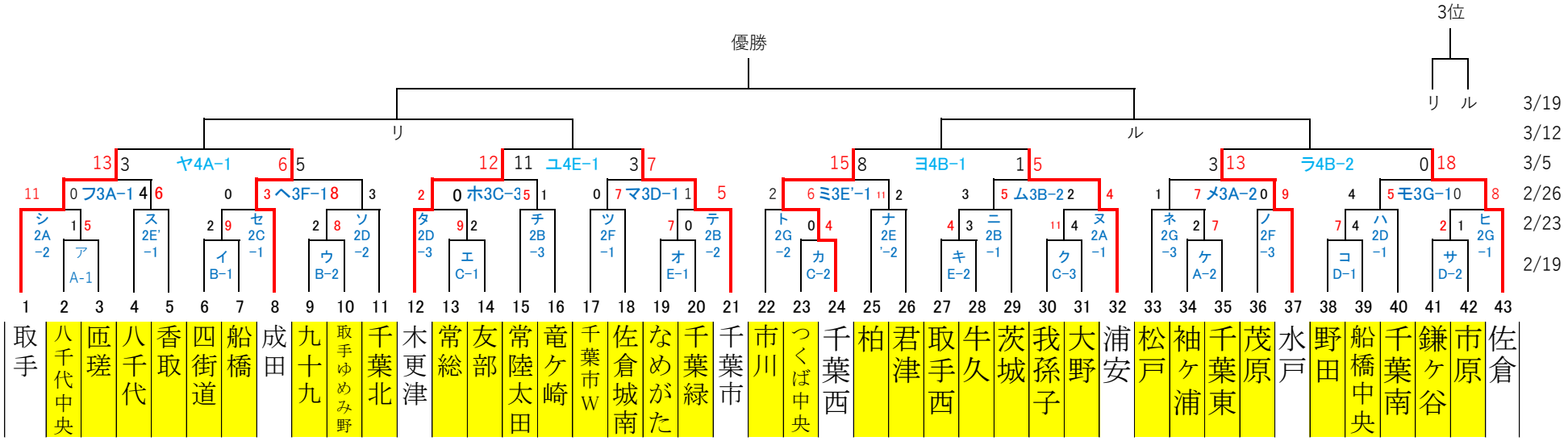
2023年　東関東支部春季大会

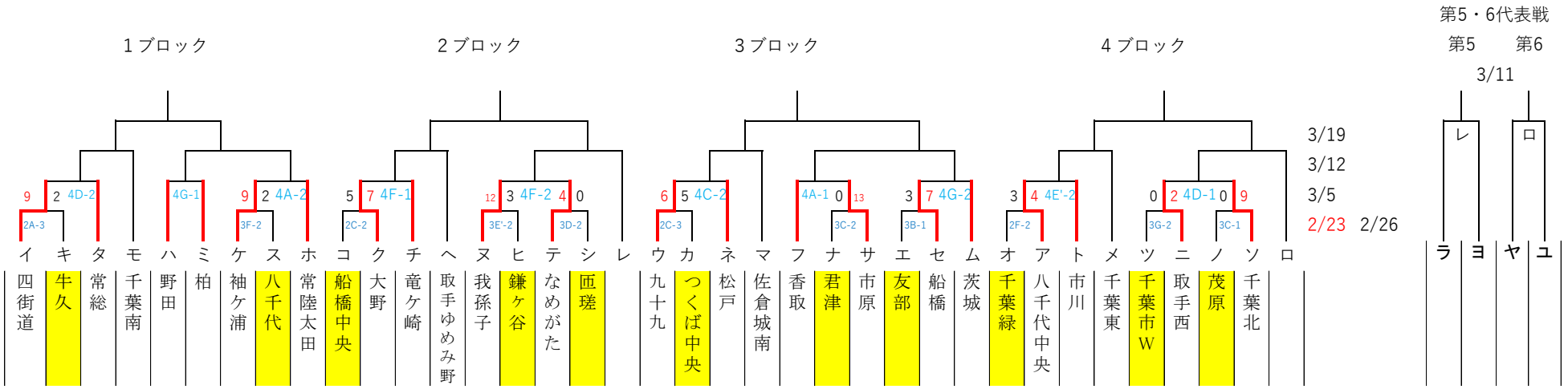


大会会場　　A:取手　B：佐倉　C:九十九　D:千葉北　E:木更津　F:TOKIWA　G:柏

1位	2位	3位	4位	第5	6位
1B	2B	3B	4B		

※第5・第6で負けたチーム入る枠番を7位・8位とする

敗者復活戦



第5・6代表戦

第5　　第6

3/11

1回戦　2月19日　結果

グラウンド	第1試合			第2試合			第3試合		
A匝瑳	2 八千代中央	1 － 5	3 匝瑳	34 袖ヶ浦	2 － 7	35 千葉東	－		
B九十九	6 四街道	2 － 9	7 船橋	9 九十九	2 － 8	10 取手ゆめみ野	－		
C友部	13 常総	9 － 2	14 友部	23 つくば中央	0 － 4	24 千葉西	30 我孫子	11 － 4	31 大野
D野田	38 野田	7 － 4	39 船橋中央	41 鎌ヶ谷	2 － 1	42 市原	－		
E なめがた	19 なめがた	7 － 0	20 千葉緑	27 取手西	4 － 3	28 牛久	－		

2回戦　2月23日　結果

グラウンド	第1試合			第2試合			第3試合		
A取手	30 我孫子	2 － 4	32 浦安	1 取手	11 － 0	3 匝瑳	イ 四街道	9 － 2	キ 牛久
B竜ケ崎	27 取手西	3 － 5	29 茨城	19 なめがた	1 － 5	21 千葉市	15 常陸太田	5 － 1	16 竜ケ崎
C成田	7 船橋	0 － 3	8 成田	ク 大野	7 － 5	コ 船橋中央	ウ 九十九	6 － 5	カ つくば中央
D千葉北	38 野田	4 － 5	40 千葉南	10 取手ゆめみ野	8 － 3	11 千葉北	12 木更津	2 － 0	13 常総
E柏	4 八千代	4 － 6	5 香取	25 柏	11 － 2	26 君津	－		
F茂原	17 千葉市W	0 － 7	18 佐倉城南	ア 八千代中央	4 － 3	オ 千葉緑	36 茂原	0 － 9	37 水戸
G佐倉	41 鎌ヶ谷	0 － 8	43 佐倉	22 市川	2 － 6	24 千葉西	33 松戸	1 － 7	35 千葉東

3回戦　2月26日　結果

グラウンド	第1試合			第2試合			第3試合		
A取手	1 取手	13 － 3	5 香取	35 千葉東	3 － 13	37 水戸	－		
B友部	セ 船橋	7 － 3	エ 友部	29 茨城	1 － 5	32 浦安	－		
C千葉北	ソ 千葉北	9 － 0	ノ 茂原	ナ 君津	0 － 13	サ 市原	12 木更津	12 － 11	15 常陸太田
D山桑	18 佐倉城南	3 － 7	21 千葉市	シ 匝瑳	0 － 4	テ なめがた	－		
E柏	24 千葉西	15 － 8	25 柏	ヌ 我孫子	12 － 3	ヒ 鎌ヶ谷	－		
F成田	8 成田	6 － 5	10 取手ゆめみ野	ス 八千代	2 － 9	ケ 袖ヶ浦	－		
G佐倉	40 千葉南	0 － 18	43 佐倉	ツ 千葉市W	0 － 2	ニ 取手西	－		

4回戦　3月5日　予定

グラウンド	第1試合			第2試合			第3試合		
A取手	1 取手	－	8 成田	ホ 常陸太田	－	ケ 袖ヶ浦	－		
B佐倉	24 千葉西	－	32 浦安	37 水戸	－	43 佐倉	－		
C九十九	フ 香取	－	サ 市原	ウ 九十九	－	ネ 松戸	－		
D千葉北	ソ 千葉北	－	ニ 取手西	イ 四街道	－	タ 常総	－		
E木更津	12 木更津	－	21 千葉市	ア 八千代中央	－	ト 市川	－		
FTOKIWA	チ 竜ケ崎	－	ク 大野	ヌ 我孫子	－	テ なめがた	－		
G柏	ミ 柏	－	ハ 野田	セ 船橋	－	ム 茨城	－		

2023 東関東支部春季大会 大会要綱

出場資格	東関東支部茨城ブロック15、千葉(西ブロック11、東ブロック7、南ブロック11チーム)29、計44チームに所属する複数登録チーム含めた登録選手(欠場:鹿島・土浦・守谷・印西)参加43チーム
関東大会 選考方法	支部大会のトーナメントよりベスト4、敗者戦より6チームの、計10チームが春季関東大会に出場する
日程 試合開始時刻	予定日:2月19日(日)、23日(祝日)、26日(日)、3月5日(日)、12(日)、19日(日)、21日(祝) ・・・7日間 予備日:中止になった翌週の土曜日及び日曜日 第一試合9:00、第二試合11:00 第三試合13:00を原則とする
審判員	支部派遣審判員並びに専任帯同審判
大会規則	関東連盟大会規則による(同連盟HPにアップされている) ただし、決勝戦にも4回10点、5回7点コールドゲームを適用する(3回13点を取り入れる) 敗者戦も含めて、当初組み合わせ表の若番チームを1塁側とする 投球制限は、日本リトルシニア関東連盟ガイドラインによる(様式Aと無地の様式Bを本部に提出)
コロナウイルス 感染拡大防止	大会出席者の検温実施並びに参加チームは消毒液(シート等)持参の事 ヘルメット等共用品は使用後その都度消毒を行う<u>＊父兄2名のベンチ入りを認め消毒対応(私服で)</u> 試合終了後はベンチの消毒を行い退出する ＊別紙関東連盟通達により対応の事
荒天時の対応	大雨等明らかに無理な場合を除き、天候不良の場合でも第1試合のチームは、基本的にグラウンド責任者に連絡することなく開始時間1時間前迄に集合すること。 グラウンド責任者は、天候不良の場合、天気予報、グランド状態を勘案し小林支部競技部長と協議のうえ、極力早く中止又は待機を決定し該当チームに連絡する。 種々の都合により試合時間、グランド、審判員の配置等を変更することがある。
表彰	優勝 ・ 準優勝 ・ 第3位 ・ 第4位
大会競技委員	大会顧問:三木 慶造(連盟理事長)、小松崎 政次(連盟総務部長) 小林 喜一(支部長兼支部競技部長)090-4921-3645 中島 洋(支部競技副部長)090-2665-0938 櫻井 道徳(支部競技委員)090-4667-0983 青木 行一(支部競技委員)090-1045-2535 相葉 延市(支部競技委員)090-2633-3306 椿 和彦 (支部競技委員)080-4142-0995 山本 久(支部競技委員)090-2646-6455 小島 慶明(支部競技委員)090-3008-9808 太田 忠夫(支部競技委員)090-1040-6165 大羽澤 一雅(支部競技委員)090-8877-1267 立松 弘通(競技員)090-4200-6781 粕谷 哲也(競技員)090-4616-9012 高橋 幸司(競技員)080-3350-7783 遠藤 正彦(競技員)090-1116-9023 津野 広昭(競技員)090-8879-5640 磯野 嘉一(競技員)090-1605-5546 後藤 敦(支部広報部長)090-5206-1189 椿 和彦(支部広報副部長)080-4142-0995 谷口 昌弘(支部審判部長)090-3349-7536 柴田 公一(支部副審判部長)090-4065-7297 飛田 泰宏(総務部長/茨城ﾌﾞﾛｯｸ審判長)090-1504-2961 中村 新悟(東ブロック審判長)090-1116-4465 大川 茂昭(西ブロック審判長)090-4623-9573 川俣 滋彦(南ブロック審判長)090-5191-1909

グランド提供チーム

千葉ブロック				公営球場			
チーム名	グラウンド責任者	携帯番号	駐車台数(マイクロ含む)	チーム名	グラウンド責任者	携帯番号	駐車台数(マイクロ含む)
柏	立松事務局長	090-4200-6781	10台(土曜日5台)	TOKIWAスタジアム	小林事務局長	090-4921-3645	
千葉北	山本事務局長	090-2646-6455	10台	山桑球場	鈴木事務局長	090-8771-8514	12台(大型×)
木更津	粕谷事務局長	090-4616-9012	15台(大型×)	野田	上野事務局長	090-2738-5835	8台(大型×)
君津	津野事務局長	090-8879-5640	20台				
茂原	大羽澤事務局長	090-8877-1267	10台	茨城ブロック			
成田	加瀬事務局長	080-1096-5460	15台	友部	高橋事務局長	080-3350-7783	20台
佐倉	高橋事務局長	090-4054-4223	10台	取手	豊島事務局長	090-1611-0990	20台(大型×)
九十九	中島事務局長	090-2665-0938	10台	竜ケ崎	小林事務局長	090-4921-3645	15台

<u>グラウンド提供チームにやっていただくこと</u>
・グラウンド使用料、審判・役員弁当代の徴収、領収書発行
・審判及び役員の弁当手配(600円程度)
・グラウンド責任者は、試合経過を関東連盟のHPにアップする

グラウンド使用料 審判役員弁当代等		
	グラウンド使用料	各チームは、当日朝グラウンド使用料として1試合当たり2，500円を提供チームに支払う。 又、公営グランドの場合は3，000円を支払う
	試合球	試合球は協会の公認契約スポーツメーカーの刻印が確認出来る硬式球とする。 試合開始前メンバー表(5枚)交換時に3球、試合中不足分はその都度拠出する。 試合後試合球は両チームに戻す。
	ロージン	試合で使用するロージンバックはメンバー表交換時に確認し両チームで管理する。
	役員及び審判弁当代	各チームは役員及び派遣審判の分として購入金額(700円/人)を出場チームで均等に割った金額を弁当代として提供チームに支払う。
	審判交通費	派遣審判並びに専任帯同審判の交通費は各チームが、大会終了後支部事務局からの規約に基づく請求により支払うものとする

健康管理チェックシート確認表

関東連盟　　（　　支部）　　チーム

日　付	チーム確認者	受付確認者	注意事項
月　　日	（指導者・事務局）		可
月　　日	（指導者・事務局）		可
月　　日	（指導者・事務局）		可
月　　日	（指導者・事務局）		可
月　　日	（指導者・事務局）		可
月　　日	（指導者・事務局）		可
月　　日	（指導者・事務局）		可
月　　日	（指導者・事務局）		可

※会場到着後速やかに大会本部に提出して下さい。尚、注意事項は次回には解消の事。

2023.1月21日
リトルシニア関東連盟

関東連盟健康管理チェックシート（チーム活動のある日にチームに提出）

所　　属：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
氏　　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（選手）（指導者）（審判員）（役員）（該当に〇）
連 絡 先：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1週間以内の健康状態　※一つでも該当する（〇）者はチーム活動に参加できません。
チーム活動の日の体温　※３７．５℃以上の場合もチーム活動に参加できません。

記入方法	レ：該当しない　〇：該当する						
チェック項目＼月日	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19
	月	火	水	木	金	土	日
新型コロナウイルスに感染していませんか？							
発熱(37.5℃以上)や倦怠感・息苦しさ(呼吸障害)がないですか？							
同居家族や身近な方で新型コロナウイルスに感染が疑われる方はいないですか？							
体温(練習日、試合などチーム活動日のみ記入)	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

チェック項目＼月日	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25	2/26
	月	火	水	木	金	土	日
新型コロナウイルスに感染していませんか？							
発熱(37.5℃以上)や倦怠感・息苦しさ(呼吸障害)がないですか？							
同居家族や身近な方で新型コロナウイルスに感染が疑われる方はいないですか？							
体温(練習日、試合などチーム活動日のみ記入)	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

チェック項目＼月日	2/27	2/28	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5
	月	火	水	木	金	土	日
新型コロナウイルスに感染していませんか？							
発熱(37.5℃以上)や倦怠感・息苦しさ(呼吸障害)がないですか？							
同居家族や身近な方で新型コロナウイルスに感染が疑われる方はいないですか？							
体温(練習日、試合などチーム活動日のみ記入)	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

チェック項目＼月日	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12
	月	火	水	木	金	土	日
新型コロナウイルスに感染していませんか？							
発熱(37.5℃以上)や倦怠感・息苦しさ(呼吸障害)がないですか？							
同居家族や身近な方で新型コロナウイルスに感染が疑われる方はいないですか？							
体温(練習日、試合などチーム活動日のみ記入)	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

＜様式 A＞

※試合毎の投球数は、様式 Bより転記する。

投球数確認シート

【本部提出用】（試合終了後チームで保管）

大会名 ：

チーム名 ：

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名																	
試合月日		／			／			／			／			／			／
対戦相手		VS	VS			VS			VS			VS			VS		
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
1		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
2		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
3		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
4		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
5		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
6		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
7		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
8		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
9		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
球場責任理事（役員） 確認サイン																	
球場責任審判員 確認サイン																	
監督 確認サイン																	

注）打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を(　)外、実際に投じた投球数を(　)内に記入する。

【投球数制限】

①１日最大**90**球以内とする。
②連続する2日間で**130**球以内とする。
③3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を**90**球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も**90**球以内とする。なお、3日間の投球数合計を**130**球以内とする。4連投（連続する4日間）は認めない。
④上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
⑤大会中は1日**90**球投球後、翌日投球を休めば3日目は**90**球の投球可能。
⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
⑧万が一制限数を超えて投じられた投球も有効とする。
⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

①試合終了後、本シート（原本）に投球数を球場責任審判員が記入・サイン後、球場責任理事（役員） 及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
②監督は、サインされた本シート（原本）を次の試合まで保管する。
③監督は、次の試合開始前に本シート（原本）とコピー2部を大会本部へ提出する。
注）連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
④鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

＜様式 B＞（1試合用）　投球数確認シート　【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 ：　　チーム名 ：

試合日 ：　　年　　月　　日　（第　　試合）　　球 場 名 ：

＜ 記 入 例 ＞　※上段：投球数を正の字で記入　※下段左：その回の投球数　※下段右：累計の投球数

背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1	日本　一郎	90 (92) 球	正正正	正正正Ｔ	正正正正	正正正正	正正正正						90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/	

注）五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【 記 入 欄 】

	背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
2			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
3			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
4			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
5			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

【投球数制限】　注）打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を(　)外、実際に投じた投球数を(　)内に記入する。

①１日最大**90**球以内とする。
②連続する2日間で**130**球以内とする。
③3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を**90**球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も**90**球以内とする。なお、3日間の投球数合計を**130**球以内とする。4連投（連続する4日間）は認めない。
④上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
⑤大会中は1日**90**球投球後、翌日投球を休めば3日目は**90**球の投球可能。
⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
⑧万が一制限数を超えて投じられた投球も有効とする。
⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】
①様式 B ´やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。
②試合終了後、責任審判員が保管する。